



令和5年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和4年11月11日

上場会社名 ニチモウ株式会社

上場取引所 東

コード番号 8091 URL <http://www.nichimo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 和明

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長兼財務部長 (氏名) 小島 章伸

TEL 03-3458-4550

四半期報告書提出予定日 令和4年11月14日

配当支払開始予定日

令和4年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 令和5年3月期第2四半期の連結業績(令和4年4月1日～令和4年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年3月期第2四半期	61,110	16.1	1,471	7.8	1,619	1.2	1,103	6.8
4年3月期第2四半期	52,620	2.2	1,365	49.3	1,600	57.2	1,184	38.3

(注) 包括利益 5年3月期第2四半期 2,058百万円 (25.6%) 4年3月期第2四半期 1,638百万円 (88.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
5年3月期第2四半期	322.60	312.45
4年3月期第2四半期	345.76	336.65

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
5年3月期第2四半期	89,429	21,818	24.4
4年3月期	74,863	20,066	26.6

(参考) 自己資本 5年3月期第2四半期 21,790百万円 4年3月期 19,928百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
4年3月期		40.00		60.00	100.00
5年3月期		70.00			
5年3月期(予想)				70.00	140.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 令和5年3月期の連結業績予想(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	3.9	2,600	18.8	3,100	14.2	2,200	20.1	643.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	5年3月期2Q	3,811,900 株	4年3月期	3,787,400 株
期末自己株式数	5年3月期2Q	370,739 株	4年3月期	370,511 株
期中平均株式数(四半期累計)	5年3月期2Q	3,420,859 株	4年3月期2Q	3,425,314 株

(注) 当社は、役員向け株式報酬制度を導入しており、期末自己株式には該当信託口が保有する当社株式が含まれております。また、当該信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルスの感染状況を注視しながらも、行動制限等の段階的な緩和により、経済活動は徐々に正常化が進み、景気は持ち直しの動きが見られました。一方で、ウクライナ情勢の長期化や急激な為替変動による原油価格や物価の高騰等も重なり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経済環境のなか、当社グループの事業基盤であります水産、水産加工・流通、食品の各分野におきましては、インバウンドと外食需要の回復が期待されつつありますが、感染症再拡大への懸念は払拭しきれず、さらには、ウクライナ侵攻に対するロシアへの制裁で資源価格が高騰し、国内外における水産物の需要・供給の変化や原材料価格の急激な変動で、厳しい環境下にありました。

このような情勢のもとで、当社グループは、3ヵ年経営計画「第137期中期経営計画（Toward the next stage）」の初年度として、経営方針「浜から食卓までを網羅し繋ぐ」をベースに、当社グループならではの一贯した体制で営業展開を推し進めてまいりました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は611億10百万円（前年同期比84億89百万円の増加）、営業利益は14億71百万円（前年同期比1億6百万円の増加）、経常利益は16億19百万円（前年同期比18百万円の増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億3百万円（前年同期比80百万円の減少）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

<食品事業>

すり身部門では、南米すり身の生産は順調に推移いたしました。円安の影響による原料相場の高騰などが影響し、練り製品の販売が振るわず、売上は増加いたしました。営業利益は減少いたしました。鮮凍水産物部門では、カニは引き続き通販向け販売が好調で、売上は増加いたしました。米国のロシアに対する禁輸措置による相場下落に加え、物流費の上昇なども重なり、営業利益は大きく減少いたしました。一方、北方凍魚は、円安への迅速な対応に努め、マダラ・ホッケの販売を中心に順調に推移した結果、売上は大きく増加し、営業利益も増加いたしました。助子においても、原料の販売が堅調に推移いたしました結果、売上、営業利益ともに増加いたしました。加工食品部門では、円安の影響で海外での加工に支障があるなか、原料価格の高騰により養殖銀ザケや寿司種の販売が順調に推移したことで、売上、営業利益ともに増加いたしました。

これらの結果、売上高は399億23百万円（前年同期比68億44百万円の増加）、セグメント利益は10億91百万円（前年同期比78百万円の減少）となりました。

<海洋事業>

漁網・漁具資材部門では、北海道沿岸における水揚げ不振は続いているものの、近海まき網や定置網用の漁具資材など、確実に受注を重ね、官公庁向け漁具資材においては、水産資源調査等の一部再開による販売増もあり、売上、営業利益ともに増加いたしました。また、船舶・機械部門では、コロナ禍や漁獲不振の影響から新規および交換需要は低調に推移いたしました。船舶用機器類ならびに船用品の販売が増加したことで、売上、営業利益ともに増加いたしました。養殖部門では、飼料原料価格の上昇があるなか、成魚の販売が堅調に推移したことで、売上、営業利益ともに増加いたしました。

これらの結果、売上高は98億91百万円（前年同期比11億円の増加）、セグメント利益は3億47百万円（前年同期比1億39百万円の増加）となりました。

<機械事業>

機械事業におきまして、国内では、冷凍食品業界・総菜加工業界を中心に、各業界において継続して設備更新や新規設備の導入が進みましたが、前年ほどの大型案件はなく、売上は減少し、営業利益は前年同期並となりました。海外においては豆腐・総菜など各種生産設備の需要が続いており、コロナ禍で遅延していた豆腐製造ラインの据付が完了したことで、売上、営業利益ともに増加いたしました。

これらの結果、売上高は54億28百万円（前年同期比3億55百万円の増加）、セグメント利益は4億14百万円（前年同期比1億15百万円の増加）となりました。

<資材事業>

資材事業におきまして、化成品部門では、主力の建材用シートなどの原材料価格高騰に対し早期に手当てし、受注は順調に推移いたしました。包装資材においても、冷凍食品関連の販売が堅調に推移いたしました結果、売上、営業利益ともに増加いたしました。農畜資材においては、肥料の価格高騰の影響を受け、コフナ・肥料の販売が減少も、ビニールハウスなどの販売が堅調に推移したことから、売上、営業利益ともに増加いたしました。これらの結果、売上高は44億12百万円（前年同期比1億71百万円の増加）、セグメント利益は2億41百万円（前年同期比16百万円の増加）となりました。

<バイオティックス事業>

バイオティックス事業では、通販は堅調に推移しましたが、大手健康食品メーカー向け「アグリマックス」や「イムバランス」の素材および薬局向けOEM商品の販売で苦戦いたしました結果、売上高は1億55百万円（前年同期比18百万円の減少）、セグメント利益は4百万円（前年同期比20百万円の減少）となりました。

<物流事業>

物流事業では、積極的な営業活動に努めましたが、引き続き菓子類の出荷低迷や燃料高騰などの車両に係る経費負担増もあり、売上高は12億45百万円（前年同期比31百万円の増加）、セグメント損失は34百万円（前年同期は1百万円のセグメント利益）となりました。

<その他>

その他の事業といたしまして、不動産の賃貸、人材派遣業などを行っており、売上高は54百万円（前年同期比5百万円の増加）、セグメント利益は42百万円（前年同期比7百万円の増加）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資 産）

当第2四半期連結会計期間末における総資産は894億29百万円（前連結会計年度比19.5%増）となりました。総資産の増加は、主として棚卸資産の増加によるものであります。

（負 債）

当第2四半期連結会計期間末における総負債は676億11百万円（前連結会計年度比23.4%増）となりました。総負債の増加は、主として短期借入金と社債及び長期借入金の増加によるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は218億18百万円（前連結会計年度比8.7%増）となりました。純資産の増加は、主として利益剰余金及び為替換算調整勘定の増加によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和5年3月期の業績予想につきましては、前回公表（令和4年5月13日）いたしました連結予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和4年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,153	8,393
受取手形及び売掛金	18,534	18,492
商品及び製品	22,257	31,933
仕掛品	1,031	995
原材料及び貯蔵品	3,218	4,220
前渡金	709	1,354
その他	1,170	1,320
貸倒引当金	△57	△72
流動資産合計	53,017	66,637
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,126	9,898
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,276	△6,434
建物及び構築物（純額）	2,850	3,463
機械装置及び運搬具	8,380	8,773
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,034	△6,169
機械装置及び運搬具（純額）	2,345	2,603
工具、器具及び備品	994	1,014
減価償却累計額及び減損損失累計額	△777	△815
工具、器具及び備品（純額）	216	198
土地	2,848	2,943
建設仮勘定	1,013	490
有形固定資産合計	9,275	9,700
無形固定資産		
のれん	21	-
その他	703	745
無形固定資産合計	725	745
投資その他の資産		
投資有価証券	11,008	11,427
長期貸付金	42	41
破産更生債権等	975	890
長期預金	77	-
繰延税金資産	221	237
その他	458	511
貸倒引当金	△993	△898
投資その他の資産合計	11,790	12,210
固定資産合計	21,790	22,656
繰延資産		
社債発行費	55	134
繰延資産合計	55	134
資産合計	74,863	89,429

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和4年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,378	13,873
短期借入金	21,437	29,985
1年内償還予定の社債	2,348	576
1年内返済予定の長期借入金	870	1,081
未払法人税等	828	421
賞与引当金	501	476
その他	3,302	3,432
流動負債合計	42,665	49,847
固定負債		
社債	3,052	6,150
長期借入金	6,954	9,057
長期未払金	18	-
繰延税金負債	703	829
役員退職慰労引当金	179	175
役員株式給付引当金	-	262
退職給付に係る負債	696	661
その他	528	626
固定負債合計	12,132	17,763
負債合計	54,797	67,611
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,411	4,468
利益剰余金	14,307	15,170
自己株式	△1,005	△1,002
株主資本合計	17,713	18,636
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,268	2,480
繰延ヘッジ損益	49	129
為替換算調整勘定	7	642
退職給付に係る調整累計額	△111	△99
その他の包括利益累計額合計	2,214	3,153
新株予約権	130	7
非支配株主持分	7	20
純資産合計	20,066	21,818
負債純資産合計	74,863	89,429

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)
売上高	52,620	61,110
売上原価	47,328	55,484
売上総利益	5,292	5,626
販売費及び一般管理費	3,926	4,154
営業利益	1,365	1,471
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	114	99
持分法による投資利益	308	190
為替差益	-	7
その他	84	90
営業外収益合計	510	390
営業外費用		
支払利息	157	191
シンジケートローン手数料	60	8
その他	56	43
営業外費用合計	275	242
経常利益	1,600	1,619
特別利益		
固定資産売却益	18	4
投資有価証券売却益	-	98
補助金収入	-	298
新株予約権戻入益	-	130
特別利益合計	18	531
特別損失		
固定資産除却損	-	6
固定資産圧縮損	-	298
投資有価証券売却損	1	-
ゴルフ会員権評価損	-	1
役員株式給付引当金繰入額	-	258
特別損失合計	1	565
税金等調整前四半期純利益	1,617	1,585
法人税、住民税及び事業税	459	505
法人税等調整額	△29	△38
法人税等合計	429	466
四半期純利益	1,187	1,118
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	15
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,184	1,103

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)
四半期純利益	1,187	1,118
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	337	230
繰延ヘッジ損益	△19	80
為替換算調整勘定	97	635
退職給付に係る調整額	11	11
持分法適用会社に対する持分相当額	22	△18
その他の包括利益合計	450	939
四半期包括利益	1,638	2,058
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,634	2,042
非支配株主に係る四半期包括利益	3	15

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,617	1,585
減価償却費	456	542
のれん償却額	21	21
繰延資産償却額	11	11
賞与引当金の増減額(△は減少)	13	△29
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5	△3
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	-	262
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△15	△18
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△13	△87
受取利息及び受取配当金	△116	△102
持分法適用会社からの配当金の受取額	23	21
支払利息	157	191
持分法による投資損益(△は益)	△308	△190
シンジケートローン手数料	60	-
投資有価証券売却損益(△は益)	1	△98
ゴルフ会員権評価損	-	1
有形固定資産売却損益(△は益)	△18	△4
有形固定資産除却損	-	6
固定資産圧縮損	-	298
補助金収入	-	△298
新株予約権戻入益	-	△130
売上債権の増減額(△は増加)	△1,976	657
棚卸資産の増減額(△は増加)	△9,887	△10,481
前渡金の増減額(△は増加)	△464	△644
仕入債務の増減額(△は減少)	2,156	392
契約負債の増減額(△は減少)	1,380	148
未払消費税等の増減額(△は減少)	△834	△23
その他	△77	1
小計	△7,806	△7,968
利息及び配当金の受取額	116	100
利息の支払額	△156	△186
法人税等の支払額	△345	△905
営業活動によるキャッシュ・フロー	△8,191	△8,959
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△83	△4
定期預金の払戻による収入	48	9
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,465	△1,027
有形及び無形固定資産の売却による収入	23	28
投資有価証券の取得による支出	△32	△4
投資有価証券の売却による収入	-	139
補助金の受取額	-	298
関係会社株式の取得による支出	△10	-
長期貸付金の回収による収入	0	1
その他	△113	△54
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,631	△613

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	9,041	8,326
長期借入れによる収入	-	2,830
長期借入金の返済による支出	△990	△515
社債の発行による収入	-	3,409
社債の償還による支出	△184	△2,174
新株予約権の発行による収入	-	7
新株予約権の行使による株式の発行による収入	-	54
自己株式の取得による支出	△0	△319
自己株式の売却による収入	-	318
配当金の支払額	△171	△205
非支配株主への配当金の支払額	△0	△2
シンジケートローン手数料の支払額	△60	-
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△107	△126
その他	-	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,526	11,595
現金及び現金同等物に係る換算差額	17	117
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,278	2,140
現金及び現金同等物の期首残高	9,285	5,571
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△5	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,001	7,711

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

役員向け株式交付信託

当社は、令和4年6月24日開催の第136回定時株主総会に基づき、当社の取締役（下記のとおり、監査等委員である取締役および社外取締役を除く。）に対し、信託を用いた株式報酬制度を導入しております。

(1) 取引の概要

当社は取締役を対象とする株式交付規程に基づき、当社の取締役に対してポイントを付与し、退任時に当該付与ポイントに相当する当社株式を交付する仕組みであります。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、当第2四半期連結会計期間末318百万円、123,000株であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	食品事業	海洋事業	機械事業	資材事業	バイオテ ィックス 事業	物流事業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	33,078	8,791	5,073	4,240	174	1,213	52,572	48	52,620
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	79	539	38	164	—	17	838	13	852
計	33,158	9,330	5,111	4,405	174	1,231	53,411	62	53,473
セグメント利益	1,169	207	299	224	24	1	1,927	34	1,961

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に不動産賃貸業を営んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,927
「その他」の区分の利益	34
全社費用(注)	△596
四半期連結損益計算書の営業利益	1,365

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	食品事業	海洋事業	機械事業	資材事業	バイオテ ィックス 事業	物流事業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	39,923	9,891	5,428	4,412	155	1,245	61,056	54	61,110
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	159	628	38	189	—	16	1,032	12	1,045
計	40,082	10,520	5,467	4,601	155	1,261	62,088	66	62,155
セグメント利益 又は損失(△)	1,091	347	414	241	4	△34	2,064	42	2,106

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に不動産賃貸業を営んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,064
「その他」の区分の利益	42
全社費用(注)	△635
四半期連結損益計算書の営業利益	1,471

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

(行使価額修正条項付新株予約権の行使による増資)

令和4年10月1日から10月31日までに、第1回新株予約権の一部権利行使が行われました。当該新株予約権の権利行使の概要は次のとおりです。

(1)発行した株式の種類及び株式数	普通株式 61,900株
(2)行使新株予約権個数	619個
(3)行使価額総額	143百万円
(4)増加した資本金の額	144百万円